

沖縄科学技術大学院大学 (OIST) について

1. 目的

沖縄において世界最高水準の教育研究を行うことにより、①沖縄の振興と自立的発展、②世界の科学技術の発展に寄与することを目的とする(沖縄振興特別措置法(平成14年法律第14号)、沖縄科学技術大学院大学学園法(平成21年法律第76号))。

2. 特色

大学院大学の設置主体として特別な学校法人「沖縄科学技術大学院大学学園」を設立。
沖縄振興の観点から国が特別な財政支援を行う(学園法)。

- ・学部の壁のない組織(単一の研究科・専攻)
- ・5年一貫制の博士課程のみ
- ・教育研究は英語で行い、学生・教員の半数以上は外国人。



(期待される沖縄振興への効果)

- ・科学技術の国際的な拠点の形成
- ・イノベーション・エコシステムの形成
- ・科学技術に関する人材の育成 等

3. 取組状況

○平成23年11月に大学院大学及び学園を設立。

(学園の理事等)

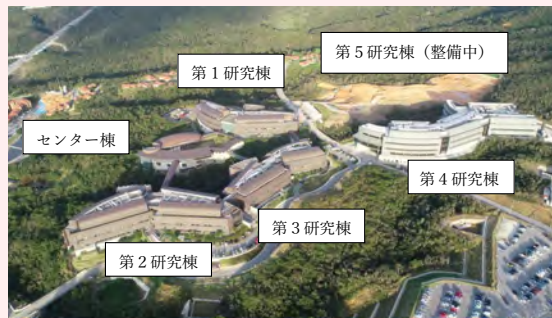
理事長/学長: ピーター・グルース(前マックス・プランク学術振興協会会長)

副理事長: ロバート・バックマン(元米国国立衛生研究所・神経疾患・脳卒中研究所副所長)

非常勤理事(16名): ノーベル賞受賞者等の科学者、沖縄振興や大学経営に係る有識者等 (R3.5時点)



ピーター・グルース学長



キャンパス外観(令和元年12月)

○教員82名(うち外国人63%)を含め、計551名(うち外国人56%)が研究に従事(R3.5時点)。
(物理学、化学、神経科学、海洋科学、環境・生態学、数学・計算科学、分子・細胞・発生生物学、工学・応用科学の8分野を基礎とする先端的・学際的な研究)

○平成24年9月に開学。学生226名(うち外国人84%) (R3.5時点)。74名が卒業 (R3.5時点)。

○教員は、採用時及び原則5年ごと、外部の評価委員会により世界的に高いレベルの基準で評価。

○平成22年3月に第1研究棟、平成24年6月に第2研究棟、平成27年6月に第3研究棟、令和2年4月に第4研究棟を供用開始。また、現在、第5研究棟を整備中(平成30年度~)。

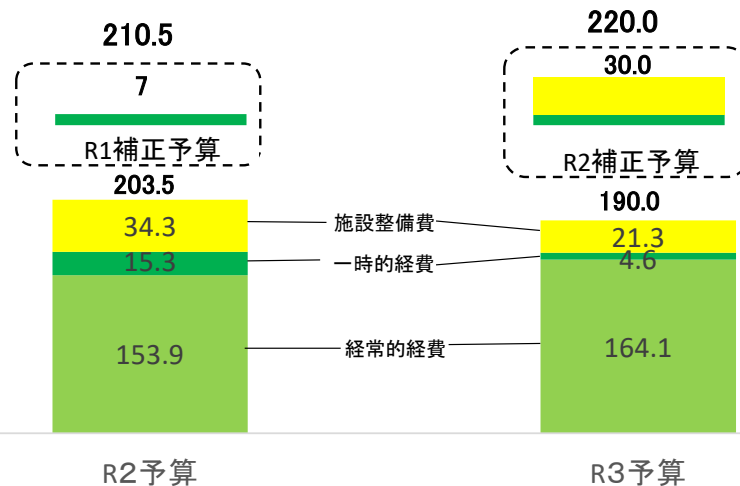
令和3年度OIST関係予算

令和3年度予算額 : 190.0億円
 令和2年度予算額 : 203.5億円

- ・令和2年度補正予算(第3号)を含めた総額は220億円(対前年度9.5億円、4.5%増)
- ・研究費等を含む**運営費**は、所要額を確保(168.7億円)
- ・**施設整備費**は、第5研究棟の建設費(4年目)等を確保(21.3億円)

令和3年度予算

	令和3年度予算	令和2年度予算
運営費	168.7億円	169.2億円
施設整備費	21.3億円	34.3億円
計	190.0億円	203.5億円



運営費

- 経常的経費 164.1億円
 学園の運営に必要な人件費、研究費 等
- ・教員 (PI) 増員82名→88名 等
- 一時的経費 4.6億円
 ・POCプログラム
 ・最先端共通研究設備整備費

施設整備費

- 第5研究棟整備費 13.9億円
- 第5研究棟附帯設備整備費 5.3億円 等

